

令和4（2022）年度 卒業証書授与式 学校長のことば

令和5年3月14日（火）

桜の花のつぼみも膨らみ、確かな春の訪れが感じられる今日、学校運営協議会 古谷さま、PTA会長 岡田さま、そして保護者のみなさま方のご臨席をいただき、ここに北中学校第42回卒業証書授与式を挙行できますことは、このうえない喜びであります。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

先ほどから、みなさん一人ひとりに、顔を見ながら卒業証書を手渡すことができました。わたしは、みなさんの入学と同時に、校長としてこの北中学校に赴任しました。この学び舎で、みなさんと過ごした三年間は、わたしの人生にとってかけがえのない宝物です。



この三年間は、新型コロナウイルスとの闘いの日々でもありました。入学して間もないころ、全国一斉の臨時休校が始まりました。みなさんが楽しみにしていた学校行事、修学旅行、部活動の大会などが延期や中止となり、教育活動に大きな制限がかかりました。マスク越しの日々の会話、前向きになっての昼食など、互いのコミュニケーションが取りにくい日々が続きました。

そのような逆境の中においても、みなさんは、明るさ、笑顔を忘れず、前を向き、仲間と力を合わせ、知恵を出し合いながら、今日まで乗り越えてきました。そのようなみなさんのたくましい姿は、わたしたち教職員や後輩に大きな元気と勇気を与えてくれました。ありがとう。

このような逆境を乗り越えて来たみなさんですが、これからの長い人生をより豊かでかけがえのないものにするために、わたしが好きな三つの言葉を伝え、はなむけとしたいと思います。

一つ目は、「感謝」です。周りの人に対して、常に「ありがとう」という感謝の気持ちを忘れないでほしいということです。コロナ禍の中で改めて気がついたことですが、この世の中に「あたりまえ」なことなど何ひとつありません。これからの長い人生の中には、いいことも、うまくいかないことも紆余曲折あるかと思いますが、どのような時であっても、今の自分や周りの人に「ありがとう」という感謝の気持ちを忘れないでいてください。

二つ目は、「謙虚」という言葉です。謙虚に学び続けるということです。これは、机に向かって勉強することだけではありません。これからみなさんが生きていく未来は、不透明で先を予測することが難しい社会です。「これが絶対に正しい」という正解はありません。その場、その場に応じて、必要な知識や情報を集め、自分の頭で考え、判断していかなければなりません。謙虚な気持ちで常に学び続け、頭の中をいつも最新の状態にするように努力してください。

三つ目は、「つながり」という言葉です。人は、人とのつながりの中で生活し、成長していきます。一人で生きていくことはできません。みなさんは、この三年間で、かけがえのない友だちや先生との出会いがあったと思います。これからも多くの出会いがあるでしょう。時には距離が離れることがあるかもしれませんが、心の中で人とのつながりを大切に生きていってほしいと思います。自分らしさを大切にするとともに、自分と違った考えをもった人の話にも耳を傾け、共に力を合わせ、より豊かな人生を歩んでいってほしいと思います。また、困った時は、自分ひとりで抱え込み悩むことなく、人とのつながりを大切に周りに頼ってください。

今日でみなさんは、この北中学校を巣立っていきます。どこに行っても自慢のできる北中学校で学んだという、自信と誇りをいつまでも宝物にしてください。時にはまた、中学校に元気な姿を見せてください。楽しい話で先生たちを喜ばせたり、時には勇気づけられて帰ることがあってもよいと思います。みなさんの活躍ぶりを聞くと、先生たちはうれしくなり、元気が出てきます。後輩にも元気を送ってほしいと思います。

最後になりましたが、保護者のみなさま、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。小さい頃から今日の日を迎えるまで、たくさんご苦労もあったことと思いますが、立派に成長された姿を目の当たりにされ、感慨もひとしおのことと思います。本日まで北中学校にお寄せいただきました多大なるご理解とご協力に対して、高いところからではありますが、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。これからのますますの成長が楽しみなお子様です。今後とも、長い目でお子様の成長を温かく見守っていただきますよう、お願いいたします。

それでは、卒業生のみなさんの輝かしい未来を祝し、学校長の式辞といたします。卒業生のみなさん、三年間ありがとう！さようなら！そしてまたいつの日か、互いに元気な姿で会いましょう。